

## 2. 火山の概況

(平成16年7月1日～平成16年7月7日)

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。火山活動度レベル(以下レベルと記載)は2。

伊豆大島では地震活動が一時活発になった。レベルは1。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

霧島山では御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

桜島では爆発があった。レベルは2。

薩摩硫黄島では連続的な火山性微動が発生した。

諏訪之瀬島では噴火があった。

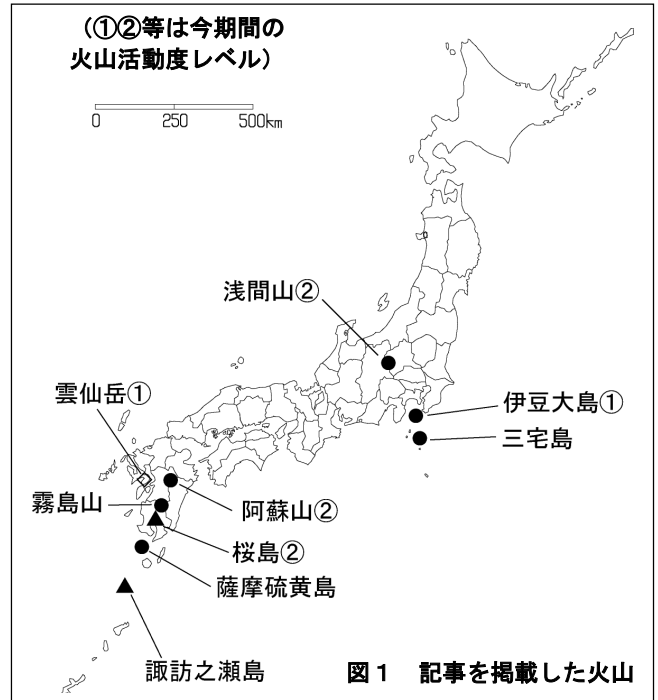


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

| 号  | 対象期間      | 浅間山 |    | 伊豆大島 |    | 阿蘇山 |    | 雲仙岳 |    | 桜島 | 富士山 | 三宅島 | 福徳岡ノ場 | 霧島山 | 薩摩硫黄島 | 口永良部島 | 諏訪之瀬島 |
|----|-----------|-----|----|------|----|-----|----|-----|----|----|-----|-----|-------|-----|-------|-------|-------|
|    |           | レベル | 記号 | レベル  | 記号 | レベル | 記号 | レベル | 記号 |    |     |     |       |     |       |       |       |
| 28 | 7/1-7/7   | ②   | ●  | ①    | ●  | ②   | ●  | ①   | ◇  | ②  | ▲   |     |       |     | ●     | ●     | ▲     |
| 27 | 6/24-6/30 | ②   | ●  | ①    | ◆  | ②   | ●  | ①   | ◇  | ②  | ●   |     |       |     | ●     | ●     | ▲     |
| 26 | 6/17-6/23 | ②   | ●  | ①    | ●  | ②   | ●  | ①   | ◇  | ②  | ▲   |     |       |     | ●     | ●     | ◆     |
| 25 | 6/10-6/16 | ②   | ●  | ①    | ◇  | ②   | ●  | ①   | ◇  | ②  | ●   |     |       |     | ●     | ▲     | ◆     |
| 24 | 6/3-6/9   | ②   | ●  | ①    | ◇  | ②   | ●  | ①   | ◇  | ②  | ●   | ●   |       |     | ●     | ●     | ▲     |

**注1 記号の意味**

- ▲: 噴火した火山
- : 活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変わった火山
- ◆: 前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇: その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字: 火山活動度レベル

**注2** 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● **浅間山 [地震・微動・噴煙・熱] レベル2 (やや活発な火山活動)**

振幅の小さい地震は、昨年6月末頃からやや多く観測されるようになっており、今期間も1日あたり6～39回とやや多い状態が継続した。また、振幅の小さい火山性微動が2回観測された(前期間は1回)。山麓の監視カメラでは、白色の噴煙が最高で火口縁上300mまで上がるのが観測された。赤外カメラ(群馬県林務部が火口縁に設置)では、引き続き火口底に高温部が確認された。

● **伊豆大島 [地震] レベル1 (静穏な火山活動)**

2日10時台から16時にかけて、島の北西沖を震源とする地震が多発した。当日の地震回数は66回、その内、伊豆大島町元町で震度1以上となる地震が5回発生した。最大震度は3であった。地震はその後でも散発的に発生した。噴煙活動、地殻変動等、その他の活動に特に変化は見られなかった。

● **三宅島 [噴煙・地震]**

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上400mであった。振幅の小さい、やや低周波の地震は、1日あたり20～50回とやや多い状態で推移した。

● **阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)**

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

2日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯

量は約3割で、湯だまりの表面温度の最高は74℃（前回<sup>1)</sup>76℃）、火口壁の最高温度は315℃（前回<sup>1)</sup>353℃）と依然高温状態にあった。湯量は減少傾向にある。また、土砂噴出が湯だまりの西側とその他数箇所で見られ、高さの最高は約5mであった。南西側の噴気口からは勢いよく噴気を噴出していた。

期間中、火山性連続微動が継続した。また、孤立型微動は今期間256回発生した（前期間は334回）。噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上400m（前期間600m）であった。地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

1) 前回の現地観測は6月23日に実施。

#### ◇ 雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

#### ● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。1～3日に時々噴気が遠望カメラで観測され、その最高は火口縁上100mであった。

#### ▲ 桜島 [爆発・降灰] レベル2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、噴火が1回あり、爆発であった（2日22時42分に発生、前期間は噴火なし）。この噴火による噴煙は夜間のため不明であった。今期間の噴煙の高さの最高は6日の火口上700m（灰白色）であった。

7日に鹿児島地方気象台（南岳の西南西約11km）で降灰が観測された（前期間はなし）。今期間の降灰量は0g/m<sup>2</sup>（1平方メートルあたり0.5g未満の微量）であった。

#### ● 薩摩硫黄島 [微動]

期間中、噴火は発生しなかったが、7月1日に連続的な火山性微動が発生した。

#### ▲ 諏訪之瀬島 [噴火・爆発・微動]

1日と5日に噴火を観測した。1日には噴火が3回観測され、特に14時54分に始まった噴火は日没で観測できなくなるまで継続した（終了時刻不明）。噴煙の高さの最高は火口上1000m（灰白色）であった。また、5日21時50分に爆発を観測した。夜間のため噴煙等は不明であった。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、期間中、集落（御岳の南南西約4km）で降灰は観測されなかった。

連続的な火山性微動を1日及び5日に観測した。

表2 火山情報発表状況

| 火山名 | 情報の種類及び号数                | 発表日時         | 概要  |
|-----|--------------------------|--------------|---|
| 三宅島 | 火山観測情報第363号              | 1日09:30      | 活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。              |
|     | ↓（1日2回発表）<br>火山観測情報第376号 | ↓<br>7日16:30 |   |
| 阿蘇山 | 火山観測情報第35号               | 2日11:00      | 火山活動は引き続きやや活発（湯だまりの高温状態継続、湯量約3割、小規模な土砂噴出が数カ所で発生、一部露出し噴気孔形成、微動連続状態）。レベルは2。 |